

伝承の力

古典の現在



三井高英作詞 松浦検校作曲

末の契 歌・三弦 藤本昭子
尺八 小林鈴純

尾崎宍夫作詞 松阪春栄作曲

楓の花 歌・箏本手 藤本昭子
歌・箏替手 中島裕康

多門庄左衛門作詞 岸野次郎三作曲 宮城道雄箏手付

吼 噓 歌・三弦 藤本昭子
歌・箏 日吉章吾

謡曲より 藤尾勾当作曲

八島 歌・三弦 藤本昭子
歌・箏 日原藤花維柯

2023年

4 | 9 ① 14:00開演(13:15開場)
紀尾井小ホール

●入場料:5,000円(完全予約制・全指定席)
(学生券3,000円)

●お問合せ・チケット申込み

藤本昭子の会 email: akikof@tc4.so-net.ne.jp
電話:03-3716-6716 fax:03-3716-2110

●後援:公益財団法人日本伝統文化振興財団

主催

藤本昭子の会





「伝承の力 古典の現在(いま)」シリーズ公演は、先人が大切に守り伝えた地歌箏曲の古典ならではの演奏技術を、このまま絶やしたくない、何としても未来に伝えたいという切なる願いを込めて、昨年四月新たな一歩を踏み出しました。

長い年月にわたって培われた三弦と箏の精緻な技法は、古典演奏のみならず現代作品においても、何よりも先ず初めに習得すべき基本ですが、規範となるメソッドを学ぶ機会には、大変残念ながら限られています。地歌箏曲の古典をいかにして次の世代に残して行けるかが大きなテーマなのです。

米川文字先生に箏助演を賜りました《八重衣》の下合せで、先生のお隣で三弦を弾かせて頂いた折に感じましたのは、こうして間近に演奏を一緒にさせて頂くことが、いかに大切なのかとの思いでした。文字先生の底知れない、嗚然とするほど隅々まで行き届いた古典技法。さらにはご年齢など微塵も感じられない音楽への情熱。それは、すぐお隣で演奏しない限り触れることが出来ない、知ることが出来ないことだったと、まさに打ちのめされるような思いでした。

私のような未熟な人間に、果たして何が出来るとのだろうかとも思いますが、今回は三曲界の将来を中心となつて担って行かれるフレッシュな方々を共演者に迎え、何回も回を重ねる下合せを通じて私が学んだ古典技法を感じ取って頂きたい、共に地歌箏曲の古典の現在(いま)を深く掘り下げて行きたいと願っています。

皆様には、是非お運び下さいまして忌憚ないご批評を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

なお、今回の「伝承の力 古典の現在」は、徳島新聞社会文化事業団設立五十周年を記念した特別公演として、下記の通り六月十一日(日)徳島市あわぎんホールで開催の運びとなりました。

今後二年二・三回の公演開催を目標に、さらに日々の修練に励んで参りたく存じます。皆様にはこれまでと変わらず、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

藤本昭子

藤本昭子 (ふじもと あきこ) 九州系地歌箏曲演奏家

祖母阿部桂子、母藤井久仁江(人間国宝)に師事。一九九五年第一回リサイクル開催(現在まで十七回開催)。二〇〇一年より現代における古典の継承と新たな可能性を追求する「地歌ライブ」を二十一年間にわたり連続開催(全百回開催)。一九九九年高橋翠秋、鶴澤津賀寿、善養寺恵介と「SATZ」結成(全四公演)。二〇〇一年「藤本昭子ユーチューブチャンネル」開設(視聴回数百万回)。演奏活動の母体として「藤本昭子の会」設立。二二年「伝承の力 古典の現在」シリーズ公演開始(全三公演)。これまでに紫綬褒章受章、芸術選奨文部科学大臣賞、文化庁芸術祭音楽部門大賞、松尾芸能賞優秀賞、日本伝統文化振興財団賞、伝統文化ポラ賞奨励賞ほかを受賞。企画・制作・主演CD「雪墨」「地歌のいろは」が文化庁芸術祭レコード部門大賞を二年連続受賞。CD作品は他に「百年の時を甦る幻の音色」「残月・八重衣」等。現在、(公財)日本伝統文化振興財団理事。(公社)日本三曲協会、箏曲女流会会員。正派音楽院講師。藤本昭子の会代表。

出演者(文中敬称略・出演純)

小林鈴純 (こばやし れいじゅん)

幼少より父小林一城に尺八の手ほどきを受け、その後二代青木鈴養(人間国宝)、三代青木鈴養に師事。NHK邦楽技能者育成会五十三期修了。先人より伝承されている古典音楽や奏法を大切な土台としながらも、今を生きる尺八のあり方を追求し、自主公演をはじめ様々な演奏会への助演や学校公演など関西を中心に幅広く活動している。また尺八製管(製作も行い、多様化するニーズに応えるべく日々研究・研鑽を重ね、楽器製作・演奏活動の両面から尺八を追求している。NHKFM「邦楽のひととき」二邦楽百番、NHKEテレ「にっぽんの芸能」ほかメディア出演に加え海外公演も多数参加。日本三曲協会、琴古流協会会員。尺八古典曲「断片」同人。鈴養会所属。

中島裕康 (なかじま ひろやす)

後藤すみ子、樋口雅礼、浜根由香に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。大学卒業時、皇居桃華楽堂に於いて御前演奏。第三十八回茨城県新人演奏会新人賞受賞。第二十四回賢順記念くめ全国箏曲祭コンクール賢順賞受賞。二〇二二年東京文化会館に於いて「第四回中島裕康リサイクル」の開催。同年秋より「リサイクルター」二〇二二・二〇二三を全国六ヶ所で開催。歌舞伎座にて人間国宝・坂東玉三郎、市川猿之助、市川團十郎、白猿の舞台音楽に携わる。東京オペラシティリサイクルシリーズ「B+C」パルクールからコンテポラー「へ」出演。NHKEテレ「にっぽんの芸能」今かがやく若手たち」に箏独奏で出演。正派邦楽会(雅号:中島雅裕)、日本三曲協会所属。中島裕康箏研究室主宰。

日吉章吾 (ひよし しょうご)

静岡県出身。六才より生田流箏曲の手ほどきを三木千鶴に受け、後に金津千重子師に師事。二〇二二年より高橋翠秋に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業後、同大学音楽学部邦楽科卒業。同大学大学院修了。NHKFM「邦楽のひととき」二邦楽百番などの放送や国立劇場、国立文楽劇場、新国立劇場の主催公演などに出演。またフランス、スイス、ポランドなど海外での演奏経験も豊富。第一回利根英法記念邦楽コンクール最優秀賞、賢順記念全国箏曲祭第二十一回全国箏曲コンクール銀賞及び福岡県知事賞受賞。二〇一六年度文化庁芸術祭音楽部門新人賞受賞。箏曲正統社師範。千鶴の会、森の会、平家語り研究会会員。重音会友。

日原藤花維柯 (ひはら ふじかいか)

九州系地歌箏曲家若田栞柯に師事。現代邦楽および二十五絃箏を二代野坂操壽に師事。東京藝術大学邦楽科卒業、同大学大学院音楽研究科修了。在学中、アカンサス音楽賞及び同学生会賞受賞、宮内庁皇居桃華楽堂にて御前演奏。東京藝術大学邦楽科教育研究助手を経て文化庁新進芸術家育成事業研修生として研鑽を積み、賢順記念全国箏曲コンクールにて銀賞及び福岡県知事賞受賞。利根英法記念邦楽コンクール「古典」にて優秀賞受賞。令和四年度文化庁芸術祭新人賞受賞。北京中央音楽院民族音楽祭開幕式にて二十五絃箏独奏。桜美林大学音楽芸術学群非常勤講師。岐阜大学教育学部非常勤講師。岐阜放送「美の精華」出演。森の会(公社)日本三曲協会、美蓉会会員。

◆公演予告◆ 伝承の力 古典の現在 V 特別公演

徳島新聞社会文化事業団 設立50周年記念公演

2023年 6/11 (日) 13:30開演 (13:00開場)

あわぎんホール 徳島市藍場町2-14

主催:徳島新聞社会文化事業団 制作:一般社団法人 和軸

「尾上の松」

歌・三弦:藤本昭子 歌・箏:日原藤花維柯
尺八:善養寺恵介
賛助出演(三弦・箏・尺八):徳島県三曲協会有志

「根曳の松」

歌・三弦:藤本昭子 歌・箏:山登松和 尺八:善養寺恵介

「影法師」「乱輪舌」「黒髪」

歌・三弦・箏:藤本昭子 ピアノ:佐藤允彦
(曲目・曲順は予定)